

個人質問

新市長の政治姿勢について

桜田 秀雄



市長の政治姿勢

問 先の市長選挙の際、自動失職の道を選んだ理由を伺う。

市長 市議会議員として最後まで職務を全うしただけです。

再 あるが現在19名、3名の皆さんが（事前に）辞職して立候補されていればこういうふうにはなっていない。3名の欠員でどのくらい経費節減ができるのか伺う。

財政課長

概算で平成22年度、約660万円、23年度で760万円前後です。

再 市長と議会は市民の公選によって成り立ち、互いに独立、その権限を侵さず、侵されずというのが地方議会の仕組みである。執行部が間接的である。議会の構成、選挙というものに介入することは適切ではない。地方政治の二元性についての考えを伺う。

市長

市長という立場で、市民一人ひとりを大切にすることです。しっかりと励んでまいりたいと思っております。

政策立案能力問題

問 各戸配布された地震ハザードマップに

肝心な避難所のけやきの森公園、二州第一保育園、二州第二保育園の3カ所が欠落しているが、理由を伺う。

建設部長

地震ハザードマップ掲載の避難所については、防災計画に記載されたものを基本に作り直したので、その後、加えられた3カ所につきまして、見落としたものです。

再

地震ハザードマップは、予定価格が569・5万円、落札価格262・5万円で落札、落札率46%と予定価格と落札価格の差が大きいですが、予定価格算出について伺う。

建設部長

基本的には、県なし、無いものについては、見積もり等を使って算出したもので、その差があってもできるものと理解しております。

道路問題

問 八街バイパス、J R線の北側の取り付け道路、県道が6メートル、降りたところが2〜3メートルと狭くなってしまう。この整備について伺う。

建設部長

以前（待避所を検討）そういう話があったことは聞いております。現在、バイパスの供用が開始された後、交通量の変化等を把握し、実情に合った対策を講じていきたいと考えます。

※その他の質問

◆公共残土事業

◆造園事業

◆仕出し弁当業者の公平な発注

個人質問

道路問題、教育問題と安全・安心な街づくりについて

小高 良則



道路問題について

問 赤道の利用促進、向上について、市内の赤道は貴重な資源のように考えており、活用できるものを発掘したいが如何か。

市長

地方分権一括法により、国から赤道・青道の法定外公共物が譲与され、本市で機能管理及び財産管理をしております。市内全域の中には、機能を有しない箇所も多数ありますので、周辺の状況を踏まえながら、関係機関と協議して、必要な箇所から整備の検討をしてみたいと考えています。

問

通学路の整備について伺う。

市長

各区及び小中学校のPTA関係者からの歩道の整備を中心に多くの要望が出されており、これらについて現地の確認を行い、通学に支障がある箇所を優先的に整備、修繕を行うように努めていきたいと考えます。

安全・安心な街づくり

問 駅前交番を含めた防犯対策について伺う。

市長

八街駅では、公共施設の破損や自転車等の盗難が多く発生していることから、佐倉警察署では日常の警ら活動を強化しているとともに、移動交番車の活用も図り、対応しております。

再

駅前交番に、仮に2名が配置されても、何か事件・事故があれば不在になってしまう。その対応について、考えを伺う。

副市長

駅前交番は6名体制で3交代勤務が検討されていると聞いております。

教育問題について

問 学力の向上について、現在の取り組みを伺う。

教育長

学力向上の基本は、まず

問

連携教育について伺う。

教育長

現在の八街市の課題としては、不登校児童・生徒の解消、問題行動を起こす児童・生徒への対応、学力向上等があると考えられています。これらの課題は、一つの学校だけで解決できるものではなく、幼稚園や保育園、小中学校、高校がこれまで以上に連携してこそ解決できる問題です。幼小中高連携教育の重要性がますます高まってきたおり、連携教育をより一層推進してまいります。

※その他の質問

◆八街バイパスについて

◆けやきの森公園野外ステーション設置、緑の街づくり推進、老人福祉センター